

第238回研究交流クラブ定例会 コンポジット - 1 DAY セミナー



主催：（公財）科学技術交流財団、（公財）日比科学技術振興財団
協力：愛知工研協会

令和7年度からCFRPに関するセミナーは、（公財）科学技術交流財団が運営する産学官交流の組織「研究交流クラブ（会員数：100社500名程度）」の主要事業としてリニューアルします。

名称は、「（公財）科学技術交流財団研究交流クラブ定例会～コンポジット-1 DAYセミナー～」とし、この分野の第一人者をお招きし、1日に集約して最新動向や最先端技術についてご紹介いたします。本セミナーは、4名の講師を招いて、会場とオンラインのハイブリッド形式で行います。どちらで参加いただいても結構です。ぜひ、ご参加ください。

○日時：令和7年7月31日（木） 10時～16時15分

○会場：科学技術交流財団研究交流センター

名古屋市中村区名駅4-4-38 ウィンクあいち15階

オンライン：Zoom（Webinar）を予定

○定員：会場20名、オンライン100名

◆内容

裏面の「コンポジット - 1 DAYセミナー プログラム」をご参照ください。

◆申込方法

下記ホームページからお申込みください

<https://www.astf.or.jp/post/compo2025>

◆締切日

令和7年7月24日（木）

◆参加費

聴講：無料

講演資料（PDFをダウンロード）：1,000円

※研究交流クラブ/愛知工研協会会員は無料

◆お問合せ先

当財団 業務部 山岸、松田 0561-76-8326

◆お支払方法

申込み受付後、支払方法及び参加方法をお知らせします。

《コンポジット - 1DAY セミナー プログラム》

10:00~10:05 開会

10:05~11:15 講演1

「モビリティ業界のコンポジット技術の現状と未来への展望」

フォワード・エンジニアリング・ジャパン(株) 代表取締役社長 長島 洋明 氏

自動車業界は、持続可能性、燃費／電費の改善、安全性向上といった重要な課題に対応するため、新しい素材と先進技術の導入を積極的に模索している。グローバルでは、複合材料を活用した構造部材設計が盛んに進められており、これらの取り組みは、自動車分野にとどまらず、次世代モビリティや空の移動を担うeVTOL、さらには人間と協働するヒューマノイドロボットといった新領域にも波及しつつある。本講演では、グローバルな視点から、自動車を中心とした広義のモビリティ業界におけるコンポジット技術の現状と将来の可能性について解説する。

11:15~12:25 講演2

「JEC WORLD 2025のトレンドと欧米の複合材料市場及びリサイクル事情」(仮)

金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 所長 鶴澤 潔 氏

世界最大級の複合材料の展示会のJEC WORLD 2025は、3月にパリ・ノール・ヴィルパント展示会場で開催された。本講演ではそのトレンド情報とともに、自動車業界以外の市場も含めた欧米の複合材料市場動向やリサイクル事情について解説する。

12:25~13:30 昼休憩

13:30~14:40 講演3

「複合材料の力学特性試験法の意義と国際・国内標準化」(仮)

近畿職業能力開発大学校 校長 北條 正樹 氏

CFRP に代表される複合材料では、極端な異方性と階層的な微視構造に起因して、引張(繊維方向、繊維直角方向)、せん断、圧縮の破壊機構がすべて異なる。また、強度・弾性率とも多数の項目を評価する必要がある。さらに、圧縮など、破壊現象そのものが未解明な変形・破壊モードも残っている。そのため、正しく材料特性を評価することが非常に困難である。本発表では、試験法の力学的な考え方について触れるとともに、ISO や JIS における試験規格の制定の動向について解説する。

14:40~15:50 講演4

「低環境負荷型の革新的複合材料の開発」(仮)

産業技術総合研究所マルチマテリアル研究部門 総括研究主幹 三木 恒久 氏

炭素繊維は膨大なエネルギーを消費して製造されるため、持続可能でカーボンニュートラルに向けた取り組みが必要であり、天然素材の有効活用を含め、循環社会を実現する新たな低環境負荷型の革新的複合材料の開発に期待が寄せられている。金沢工大・産総研BILでは、金沢工大の複合材料の成形プロセス技術と産総研の木質材料の改質・成形プロセス技術を組み合わせ、資源循環やCO2排出削減に資する革新的材料を創製するための研究開発を実用レベルで実施しており、その取り組みを紹介する。

15:50~16:15 名刺交換会など